



今、3年生は私立大学の2月試験を終え、国公立大学前期試験に向けて奮闘中です。

1、2年生も、来年、再来年は自分たちの番だということを念頭に置いて、日々の学習に取り組みましょう。そして、今年度最後の考査でしっかりと力を発揮して、次のステップに踏み出してください。

【73回生国公立総合型選抜・学校推薦型選抜結果速報】



大学	学部	学科	合格者		共通テスト
島根大学	生物資源		1	総合型	無
兵庫県立大学	国際商経	国際商経	1	学校推薦型	無
	国際商経	グローバルコース	1	〃	無
	社会情報	社会情報	1	〃	無
神戸市立看護大学	看護	看護	1	〃	無
静岡大学	工	電気電子工	1	〃	無
兵庫教育大学	学校教育	学校教育	2	〃	有
鳥取大学	工	社会システム	1	〃	有
合計			9		

【国公立大学の学校推薦型選抜・総合型選抜について】

学校推薦型選抜の基本

国公立大学の学校推薦型選抜は専願であり、1校しか受験できません。また、専願ですので合格した場合は絶対に進学せねばなりません。共通テストを課さないものと、課すものの2種類があり、時期が違いますが、前者で不合格が判明したあと、後者の他の大学の推薦型選抜に出願することはできませんので、注意が必要です。国公立大学の場合評定平均の基準が高い場合が多く、高校での受験人数が制限されている場合が多いため、本校での選考会議を経て受験の可否が決まりますので、誰でも受験できるというものではありません。

神戸大学経済学部のように共通テストの点数だけで判断される選抜もありますが、共通テストの有無にかかわらず、受験科目は小論文と面接という場合が多く、学科試験や実技がある大学もあります。

兵庫県立大学と兵庫教育大学

本校でも人気の高い兵庫県立大学では、英文を読解した上での小論文が課せられるため、一般選抜でも合格するだけの英語力が必要だと思われます。回生によって差はありますが、68回生から73回生までを合計したデータで、環境人間学部は10人受験したうち合格者は2人、国際商経・社会情報学部(経済学部、経営学部から改組)は18人受験・合格者8人、看護学部8人受験・合格者1人という結果でした。

兵庫教育大学では、共通テスト3科目(英語200点+国語200点+他の高得点1科目100点)の得点が全国平均の1.2倍以上はA、1.1倍以上はB、平均点以上はC、平均点未満はDの4つのグループに分け、それを面接のグループとしています。このグループの中では共通テストの得点差はないものとし、上位グループから順に面接の点数が高得点の者を合格者として決定するというシステムをとっています。本校でも、71回生から73回生までを合計したデータでは、11人受験したうち合格者は4人という結果で、Aグループで不合格だった生徒も、Dグループで合格した生徒もいませんでした。だから、まずは、共通テストで上位グループに入れる得点をとることが重要なポイントになります。ただし、面接の点数が60%に満たないものは不合格になる場合もあるとのこと。

総合型選抜について

学校推薦型選抜と同様、専願で、共通テストを課さないものと課すものがあります。学校推薦型入試よりも早い時期に実施され、2次までの選考がある場合がほとんどです。本校からは昨年高知大学工学部、今年は島根大学生物資源学部で合格者が出ています。

楽して合格はあり得ない

総合型選抜、推薦型選抜では、志望理由が明確であり、高校でなんらかの実績がある、社会問題に対する意識が高く小論文が書ける、抜群に得意な科目がある、など人よりも秀でた力が必要です。また、その力が十分でないならば、それこそ必死で受験科目の小論文を書く練習をせねばなりません。推薦だから一般選抜では

とても手の届かないような大学に合格するかもしれないと安易に考えて受験するのは禁物です。大学で何を学ぶか、それを社会に出てどう活かすかという目的意識を持ち、そのために高校時代どのようなことに取り組んでいるかをしっかりとアピールできなければ、志望理由書も書けませんし面接にも対応できません。また、自分の受ける学部の学問内容での素養や問題意識がなければ、合格するに足る小論文は書けません。小手先では太刀打ちできないのが国公立大学の学校推薦型選抜、総合型選抜です。

更に、受験生にとって受験勉強に専念すべき秋に、小論文や面接対策に時間を割かれるというリスクも考えた上で、推薦選抜を受験するかどうかを検討すべきでしょう。

大学選びも大きなポイント

共通テストを活用しない推薦でも地方の公立大学では倍率の低いところもあり、早めに面接や小論文に取り組むことで、国公立大学に合格する可能性がひらけます。また、共通テストを活用する推薦では、自分の得意な2~3教科で判断してもらえる大学もあります。推薦型選抜、総合型選抜にチャレンジしたいという希望があるならば、担任の先生と受験する大学について十分検討してほしいと思います。ただ、万全の対策をとったとしても、学校推薦型選抜で合格するとは限りません。苦しくても推薦型選抜対策と共通テストの勉強をしっかりと両立させて下さい。

「志望理由を明確にすること」は大学での学びを充実させるために必須

進学する全ての人にとって、志望理由…大学で何を学ぶか、学んだことを生かしてどんな職業に就くか、その職業を通して社会にどのように貢献するか…を考えることは、大学でより有意義に学ぶためには、とても重要な事です。1年生の時に探究の時間で考えた志望理由を日々深めることを意識しながら高校生活を過ごしてほしいと思います。そのためにも、常に問題意識を持って、新聞を読んだり、ニュースを聴いたりして、情報を集めましょう。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えたいための17の目標



SDGsに取り組んでいる大学も
多いことを知っていますか？



兵庫県立芸術文化観光専門職大学

神戸新聞 2020年10月29日 木曜日 面名 朝四社 13 22ページ



記者会見する平田オリザさん(左)と
井戸敏三知事=28日午後、兵庫県庁

芸術文化観光専門職大学 兵庫県が豊岡市山王町に新設する4年制の高等教育機関。演劇を本格的に学び、それを基礎として芸術文化、観光の両分野で地域を活性化することを目指す。「芸術文化・観光学部」のみで、定員は4学年全体で320人。1年生は原則寮生活を送る。総授業時間の3分の1(約800時間)を実習に充てる。演劇の手法を取り入れた対話的コミュニケーション能力の育成などを教育研究の方針としている。平田オリザさんのほか、国際的に活躍するダンサーの木田真理子さんらが教壇に立つ。

豊岡の専門職大学

兵庫県立の「芸術文化観光専門職大学」が来月4月に開学すると決まったことを受け、学長就任予定の劇作家平田オリザさんと井戸敏三知事が28日、県庁で記者会見を開いた。平田さんは「大学を中心として豊岡や但馬が、10年以内にアジアの芸術文化のハブ(拠点)になるよう貢献したい」と抱負を述べた。(藤井伸哉)

同大学設置を文部科学相「新たな一歩」と喜んだ。平田さんは、「身が引き締まる思い。国公立大学で演技やダンスの実技を本格的に学べることは初め、歴史的な産業は日本に残されが、1学年の定員が80人と小規模ながら、全国の高校生から既に約3900件の資料請求があった。開学出願は11月中旬に始まるが、1学年の定員が80人と小規模ながら、全国の高校生から既に約3900件の資料請求があった。開学に向けて1年間浪人した受験生もいるとい、平田さんは「多様な学生を確保したい」との考えを示した。

井戸知事は、「平田君を身に付け、地域への貢献と世界に羽ばたく両面で人材が育ってほしい。若者人口の流出抑制など但馬の地域活性化にもつながると期待した。」

「但馬をアジアの芸術拠点に」

学長予定の平田オリザさん

2019年4月に新しく誕生した専門職大学は、学問を深く研究する大学と、将来の就職に向けて技術を身につける専門学校を融合させたものであり、将来的に産業をリードできる人を育成するために、産業界と連携しながら専門的なことを広く実践的に学ぶための学校です。大学の良さと専門学校の良さをあわせ持ちながら、これまでにない教育方針で仕事に役立つ知識と技術を身につけられるのが特徴といえます。公立の専門職大学としては左に紹介した「兵庫県立芸術文化専門職大学」と「静岡県立農林環境専門職大学」があります。

※平田オリザ…日本の現代演劇界で、いまもっとも注目されている劇作家・演出家。青年団主宰。江原河畔劇場 芸術総監督。城崎国際アートセンター芸術監督。こまばアゴラ劇場芸術総監督。

2021年 一般選抜受験科目

(共通テストは利用しない)

〔A日程〕 1次試験…国語・英語

2次試験…小論文と集団面接

〔B日程〕 国語・英語